並木中等story

令和２年６月11日号

怒っている人は困っている人！

　私は一時期，お客様相談室のような所に勤務していた時があります。電話がなると「穏やかな電話ならいいな。」と思いながら仕事をしていました。この勤務箇所は怒鳴り込むような電話がよくあります。１回に５時間というものもありました。

　怒鳴り込みの電話を何ヶ月も受けていると，気付いたことがあるのです。怒鳴り込む人は怒っているというよりも，どうしていいのか分からずに迷っている人，つまり，困っている人ではないか。そう考えると，怒鳴り込みの電話も少し落ち着いて聞けるようになりました。

　先日，書店で，精神科医の水島広子先生の『10代のうちに知っておきたい　折れない心の作り方』（紀伊國屋書店）を目にして購入しました。この中に，“怒っている人は「困っている人」”の章があり，自分がかつて気付いたのは間違いでないと実感しました。

　並木中等ではあまり，怒っている人は見かけませんが，もし，怒っている人を見かけたら，困っている人なんだと，優しくみてあげてください。

《並木中等の感染防止対策》

〇昇降口でサーモグラフィー等を用いて体温を測ります　健康観察を行います
〇登校後も含め，機会あるごとに手洗いをします　各階に消毒液を設置します
〇マスクを着用し，教員と生徒が近い場面はフェイスシールドを使用します
〇教室の両側の窓，ドアを一部開け，換気をします　今後，扇風機も設置します
〇生徒どうしが対面する授業は当面控えます